

～元気の出るエピソード～

日々、ご利用者の介護をしていくなかで、よく感じることは、デイケアに通ってきているご利用者は様々であり、タイプも違えば、認知症レベルもまるで違います。それぞれのご利用者様に合った介護が必要だと思います。私は、よく囲碁が趣味のご利用者様と碁を打つことがあります。また、レクリエーションのクイズで難しい漢字の読み方をだすと、正解を答えてくれます。送迎の時に、足腰に持病のあるご利用者様に宅配の食料品が届いていたら玄関の中まで運びます。この様に、バリエーションに富んだ介護を目指しています。その人らしい介護をするためには、各ご利用者様について、よく知ること、身体能力、認知症レベル、家族構成、過去の経歴、趣味などです。あらかじめ調べておくのは、もちろんですが、普段から、よくコミュニケーションして、情報を得て、その情報を基にしてコミュニケーションするという、コミュニケーション活性化のスパイラルを築くことが大切だと思います。

デイケアわかば 介護士 岡安健

今年5月に開催された家族会では、初めに当院アドバイザーから認知症の方との関わり方などミニ講座がありました。その後、グループに分れて自己紹介や日常の様子や困ったことなど、ご家族様が情報交換をされておりました。共感や新しい知識を得たり気軽に話し合える場となっておりました。家族会に参加することで少しでも気持ちが楽になり、家に帰って介護する側も介護される側もお互いに笑顔で過ごせる時間を増やしていけたらと思っています。その為にも患者様だけではなくご家族様への支援もさせていただきたいので、是非ご参加して下さい。

外来看護師 五十嵐裕美

外来案内

診療科目	月	火	水	木	金	土
午前 認知症 外来	鈴木	安西	安西	鈴木	鈴木 or 安西	休診
	根岸					
一般 内科						
午後(新患のみ)	休診	鈴木	休診	安西	休診	休診

受付時間		診療時間		面会時間
午前	午後	午前	午後	午後
8:45~11:30	13:00~15:00	9:00~12:00	14:00~17:00	14:00~17:00

蓮田よつば病院 当院は認知症専門の病院です
〒349-0114 埼玉県蓮田市馬込2163番地
電話:048-765-7777

医療法人社団 心の絆
よつば訪問看護リハビリステーション
電話:048-796-5157

蓮田よつば病院
デイケアわかば

診もり短歌

～最期の看とりをしした人の
家人からの手紙～
病室に最期をみとりし老人の
妻からの礼状
スタッフと読む
Dr ねぎし

病院方針

- ・身体拘束は原則おこないません
- ・薬物は適正に使用します
- ・言語的抑制を最小限にします
- ・地域と共に考え貢献します

～初めて外来を受診される方～

お電話での予約が必要になります
患者様治療のために
・紹介状(診療情報提供書)
・お薬手帳の持参をお願いしています
ご協力をお願いいたします
予約時間の変更等につきましては、午前中診療のため、13時以降に外来にお電話下さい
○休診日○
土曜・日曜・祝日は休診になります

蓮田市
認知症カフェ
はすカフェ
電話:048-765-7777 (蓮田よつば病院)

医療法人社団 心の絆

認知症専門病院 **蓮田よつば病院**

私たちは、大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくりたい

携帯からも当院のホームページにアクセスできます→



よつば通信 11月号

発行日 平成30年11月15日

平素より当院の診療にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

平成21年に「大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくる」を理念に開院して以来、よりよい医療を目指して日々を重ねてまいりました。

その理念の一環として、診察環境の改善を推進しています。昨年はアンケートで外来の待ち時間が長いというご意見をいただいたため、予約時間枠を見直しました。また受診される方のプライバシーに配慮し、受付番号でお呼びし、診察の進み具合を番号で表示するようにしました。診察前に毎回簡単な問診表を記入いただき、診察時間を有効に使えるよう心掛けてもおります。お待ちですする時間はそれまでよりも短縮したように感じておりますがいかがでしょうか。

そのほか、玄関での靴の履き替えを廃止し、外履きのままお入りいただくようにしております。待合スペースにパンフレットなどで様々な情報を提供しております。ご活用ください。「このような情報がほしい」等のご希望もおきかせ下さい。

まだまだ至らない点もあろうと存じますが、皆様方とのつながりを広め、深めながら成長してゆきたいと考えております。今後ともどうぞ指導のほどよろしくお願い申し上げます。

蓮田よつば病院
診療部長

鈴木 如月



よつばのおいしいご飯



献立

主食:かぼちゃのカレー
副菜:バンバンジー風サラダ
副菜:パンプキンスープ
デザート:パインアップル

栄養価

エネルギー:652kcal
たんぱく質:21.0g
脂質:21.4g
塩分:3.8g
※行事食につき、栄養価は若干高めになっております

近年、日本でもハロウインを楽しむ文化が定着しつつあります。高齢者の方の中にも、ハロウインをご存知の方も増えてきているのではないのでしょうか。新しい文化に触れることも脳への刺激になると言われておりますので、当院でもハロウインらしい献立を取り入れております。

管理栄養士 水野俊



看護研究

『ユマニチュードを活用した認知症患者の症状減少への取り組み』

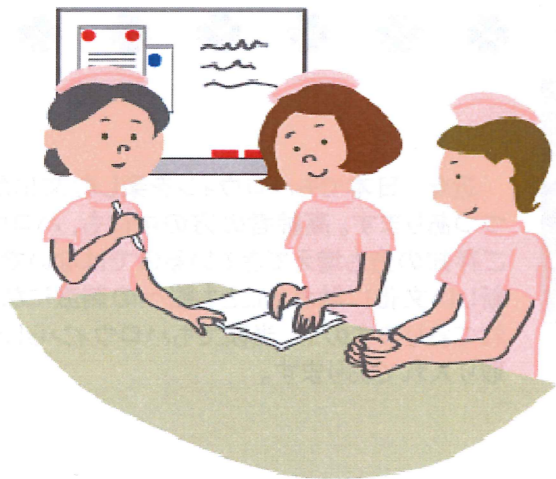
みなさん「ユマニチュード」という技法をご存じですか？「見つめる」「触れる」「話しかける」「立つように援助する」を複合的に組み合わせたフランス発祥の認知症ケア方法です。「ユマニチュード」とは、フランス語で「人間らしさ」を意味します。

今回私たちは、認知症患者様に、ユマニチュードを応用活用して、認知症の周辺症状の減少に取り組みました。対象の患者様は、簡単な会話ができるにもかかわらず、異常行動を繰り返し、つねる、咬む、叩くといった介護抵抗がありました。生活リズムが崩れ、日中は寝て過ごす日も多くありました。

そこで私たちは、この患者様を対象に、肩や背中にかけて広い範囲をなでるようにタッチしながら声をかけ、職員が側にいると認識してもらう事からはじめました。ユマニチュードの技法を意識して、まず、相手の名前を呼び、自分も名乗る。何気ない会話からはじめ、トイレへ促す声掛けをしました。会話の内容は日付や時間で、「時」の認識をもってもらうよう意識しました。何気ない会話には、「あなたを大切に思っている」「人として尊厳を大切にすることを伝えるユマニチュードの考えに基づいています。また、トイレへの声掛けも、優しく簡単にし、明確な情報を伝えることで、協力を得やすいよう心がけました。次に、朝、昼、夕の排泄時間に「立つ」ことからはじめ、最終的には約30m歩行できるようになりました。「立つ」「歩く」ことは、人間の尊厳であり、筋力低下予防、日中の活動量の向上にもつながります。

一連のトイレ介助の後には必ずお礼を言うことで「感情の固定」につながります。人間は年齢を重ねると、身体や認知機能は低下していきませんが、感情は最後まで残るといわれています。最後に「次は〇時に来ます」と「再会の約束」をし、先の見通しが難しい認知症患者様に対して、「時」の認識をもってもらうようにしました。

以上のケアを継続することで、異常行動の回数は半分に減少しました。私たちはつい、「認知症患者様」をひとくりにしてしまいがちですが、実はその生き方、感覚の使い方が多様であること、情報をきちんと伝えてくことの大切さを学びました。今回の研究を通して認知症ケアにかかわらず、信頼という人間関係、看護、介護の質を意識した声かけの方法の大切さを改めて実感しました。



2F病棟看護研究Bチーム

- 神田 由香
- 吉羽 聡子
- 成田 春江
- 中村 広毅
- 奥長 英子

蓮田よつば病院の 認知症ケア専門士

平成30年 相談員（精神保健福祉士）からみる医療現場

厚生労働省の推計によると、団塊の世代が75歳以上となる2025年には認知症患者数は700万人前後に達し、65歳以上の高齢者の約5人に1人を占める見込みです。こうした中で国は、本人主体の医療・介護等を基本に据えて医療・介護等が有機的に連携し、認知症の症状の変化に応じて適時・適切に切れ目なく提供されることで、認知症の方が住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができることを目指しています。そのためには、認知症の方を支える人たちの連携が大切です。医療機関やケアマネージャー、そしてその方を介護している家族などが連携し多くの情報を共有し、認知症の方の生活を支えていかなければなりません。その中でも認知症の方にとって、家族のサポートは必要不可欠なものです。その「家族が介護負担で倒れてしまわない」ことがとても大切になってきます。そういった時に家族が気軽に同じ悩みを抱える人たちとの交流の場として、蓮田よつば病院では色々な取り組みを行っています。

○蓮田よつば病院家族会：2カ月に1度のペースで第4水曜日の13:00~14:30

認知症介護をしている方々と日頃の介護体験や困ったことなどをお互いに話し合っ、情報共有し理解を深める場として、定期的を開催しております。

※今年度は11月、1月、3月を予定しております。

○ハスカフェ（オレンジカフェ）：毎月第1土曜日の10:00~12:00

蓮田市にあります洋菓子店「プティバランス」の美味しいケーキを食べながら、認知症で悩んでいる方、理解しようとしている方が集い、情報交換、お話しをしながらほっと一息つく場です。

○認知症予防教室：毎月第3土曜日の10:30~11:30

65歳以上で医師から運動制限及び認知症の診断を受けていない方を対象に、生活習慣、運動習慣と一緒に勉強していく教室です。

蓮田よつば病院では、地域向けの活動を定期的で開催しております。認知症に関わる皆様を、相談員という立場からご支援できればと常に考えております。ぜひみなさまにご活用いただければ幸いです。

蓮田よつば病院 地域連携室 リーダー
精神保健福祉士・認知症ケア専門士 平園 雅俊

～よつば病院作業療法風景～

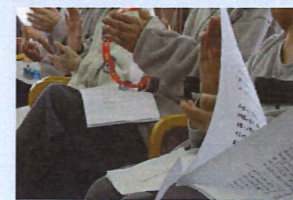
音楽療法



運動療法



調理クラブ



今月の予定

今年度のはずカフェは毎月第1土曜日蓮田よつば病院にて開催致します。

- 誕生会 各病棟
3階 随時おこないます
2階 随時おこないます
- 理美容 各病棟
第1・3木曜日
- 調理クラブ
第2月曜日
- お化粧教室 4階フロア
第2・4木曜日
10:30~11:20